

発生動向の概況

年間を通じ感染症による患者数の最も少ない時期です。県内でも感染症の発生が全体的に少なく、大きな変動はありません。

咽頭結膜熱(プール熱)は県下全域で散發程度の発生で、低いレベルのまま横ばいで推移しています。全国では6月から7月上旬までやや発生していましたが、その後減少傾向が続いています。手足口病は県内では散發程度の発生で、全国では第28週(7月中旬)をピークに減少しています。ヘルパンギーナ(夏かぜの一種)は県内全域で減少傾向ですが、八幡浜地区では第33週の定点当たり患者報告数が6.8人と、他地区に比べ多く発生しています。

感染性胃腸炎は横ばいで推移しています。病原体はウイルス性と細菌性のものが混在しています。腸管出血性大腸菌感染症の届出も依然続いていますので、手洗いを習慣づけ、食品の取り扱いに注意しましょう。

流行性角結膜炎が中予を中心に増加しています。この疾患は主にアデノウイルスによる感染症で、感染力が非常に強く、目やにや涙などを介して感染します。目に触れた手をよく洗う、顔に触れるタオルなどの共用は避ける、目やにや涙はティッシュペーパーなどの使い捨てのものでふき取る等、周囲の人にうつさないように注意しましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1例(O157)

五類感染症 : 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県内の傾向
咽頭結膜熱	→ 0.2	県下全域で散發程度の発生。例年に比べ低いレベルのまま横ばいで推移。
感染性胃腸炎	→ 3.7	最も患者数の少ない時期。県下全域で発生しているが横ばいで推移。
手足口病	→ 0.6	流行の兆しはなく、散發程度の発生が続いている。
突発性発疹	↗ 1.6	例年どおりの動向でやや増加している。
ヘルパンギーナ	↘ 2.9	県下全域で減少傾向。他地区に比べ八幡浜地区でやや多く発生している。

解析評価委員のコメントから

咽頭結膜熱 : 結膜炎はないアデノウイルス感染の人も含め、見られるけど少ないです。(中予)

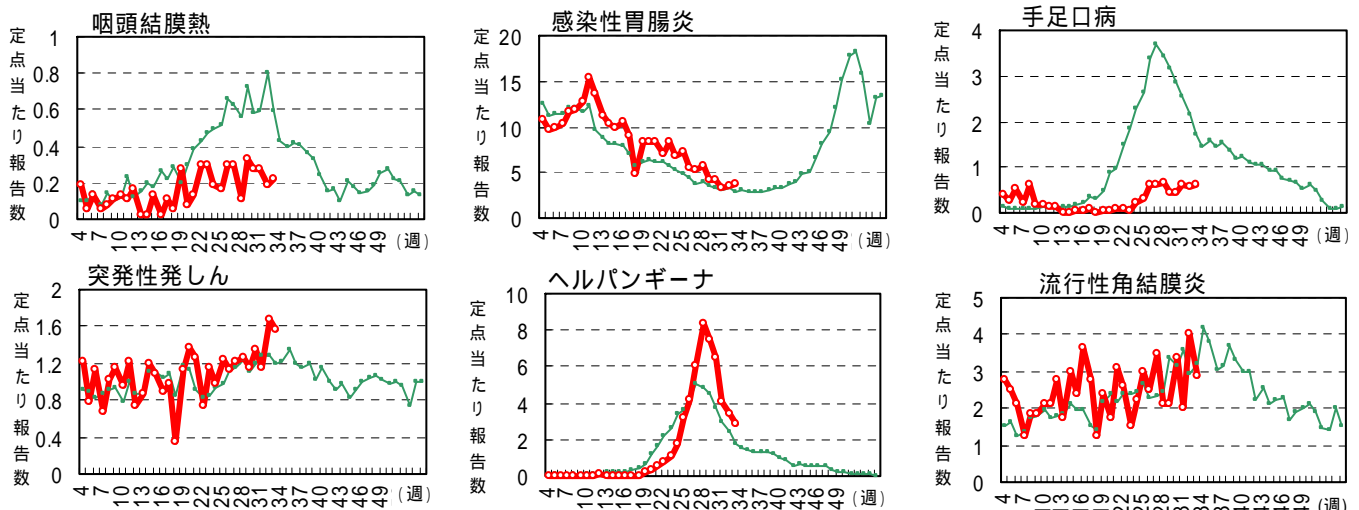
やや減少してきました。ただアデノウイルス感染症全体は横ばい状態です。(中予)

感染性胃腸炎 : 全体数はやや減少していますが、細菌性胃腸炎や夏かぜにともなう胃腸炎が目立ちます。(中予)

突発性発疹 : 比較的多発しています。(中予)

ヘルパンギーナ : ピークは過ぎてきました。県下全域で減少してきましたが、八幡浜・大洲はまだまだ見られるようです。(南予)

過去30週の動向 (—●— : 過去30週の動向、 —◆— : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

ヘルパンギーナ患者数が減少傾向にあり、手足口病患者数もそれほど多くないため、これらの疾患からの検体は少数ですが、上・下気道炎、発疹症、熱性疾患等からの検体が多くなっています。松山市地区の発疹症(29週) 心筋炎(30週)患者検体から、それぞれコクサッキーA9型が検出されています。上気道炎(29週)・熱性疾患(32週)からもエンテロウイルスをそれぞれ1株ずつ分離同定中です。また、熱性疾患からアデノウイルス2型、溶レン菌咽頭炎からはG群溶レン菌が検出され、さらにアデノ様ウイルスを3株(発疹症2、熱性疾患1株)分離同定中です。

感染性胃腸炎は、最も患者数が少ない時期ではありますが、32週にはアデノウイルス1例、33週にはサルモネラO9(いずれも松山市地区)が1株検出されています。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査数	HI抗体陽性数 ¹⁾	2ME感受性抗体陽性数 ²⁾
7月10日	20	1(5%)	1(100%)
7月17日	20	0	-
7月30日	20	0	-
8月7日	20	1(5%)	1(100%)
8月13日	20	0	-

1) HI抗体価は1:10以上を陽性とししました。

2) 2ME感受性抗体陽性は新鮮感染です。

過去5週 検出病原体

(7月16日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
29	7/16~7/22	西条	感染性胃腸炎	サボ	糞便	1
		今治	流行性耳下腺炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
			発疹症・不明発疹症	コクサッキーA9	咽頭ぬぐい液	1
30	7/23~7/29	松山市	感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1
			心筋炎	コクサッキーA9	咽頭ぬぐい液・糞便	1
			不明熱	アデノ2	咽頭ぬぐい液	1
32	8/6~8/12	松山市	溶レン菌咽頭炎	G群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	アデノ	糞便	1
33	8/13~8/19	松山市	感染性胃腸炎	サルモネラ O9	糞便	1

月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月						合計	
	2007							
	3	4	5	6	7	8		
ウイルス	コクサッキーA5				1	1	2	
	コクサッキーA6				1	2	3	
	コクサッキーA9					4	4	
	コクサッキーB4					1	1	
	エコー18					1	1	
	インフルAソ連	2	1	2	1		6	
	インフルA香港	4	6	1	1		12	
	インフルB	10	2	1	1		14	
	パラインフル3				1		1	
	RS	5	1				6	
	ムンプス	1				3	4	
	ロタ	16	11	3	1		31	
	アストロ		2	3			5	
	ノロ	9	4	3	1	4	21	
	サボ	3	5	7	5	3	23	
	アデノ			1	1		1	3
	アデノ1	2		2			4	
アデノ2	1		1	5	1	8		
アデノ5	3	2				5		
単純ヘルペス1			1			1		
ウイルス計	56	34	25	19	20	1	155	
細菌	下痢原性大腸菌			1			1	
	サルモネラ O4			1			1	
	サルモネラ O7			1			1	
	サルモネラ O9					1	1	
	カンピロバクター	3	3	3		2	11	
	A群溶レン菌	3	1	3	3	1	11	
	B群溶レン菌	1					1	
G群溶レン菌						1	1	
細菌計	7	4	9	3	3	2	28	

臨床診断名別検出結果 (2007年6月以降採取検体)

検出病原体	イ ン フ ル エ ン ザ	溶 レ ン 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	下 気 道 炎	上 気 道 炎	心 筋 炎	不 明 熱	発 疹 症 ・ 不 明 発 疹 症	そ の 他	合 計
コクサッキーA5				2								2
コクサッキーA6				1			1				1	3
コクサッキーA9								1	1	1		3
コクサッキーB4						1						1
エコー18										1		1
インフルAソ連	1											1
インフルA香港						1						1
インフルB							1					1
パラインフル3							1					1
ムンプス					3							3
ロタ			1									1
ノロ			5									5
サボ			8									8
アデノ			2									2
アデノ2						1	1		4			6
ウイルス計	1		16	3	3	3	4	1	5	2	1	39
サルモネラ O9			1									1
カンピロバクター			2									2
A群溶レン菌		4										4
G群溶レン菌		1										1
細菌計		5	3									8

愛媛県 定点把握五類感染症 2007年 第 33 週 (2007.8.13 ~ 8.19)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					成人麻しん		
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
四国中央			1	1	7		1	5			4		-	-							四国中央
西条			1	1	26	11	1	3	8		14		1						1		西条
今治				3	14	3			14		5			2							今治
松山市			4	2	59	12	11	4	20		40		8	19	-	-	-	-	-	-	松山市
松山				9	16	3	4		8		6		1	2						1	松山
八幡浜			1	2	11	4	2		3		27		10								八幡浜
宇和島			1	1	4		3	3	5		10		4								宇和島
愛媛県			8	19	137	33	22	15	58		106		24	23				1		1	愛媛県
1週前			7	38	127	28	21	22	62		125		24	32				4			1週前
2週前			10	35	121	22	22	17	43		151		33	16				1			2週前
3週前			10	40	154	40	16	26	50		241		27	27				1			3週前
0-5ヶ月					5	3			3		1										0
6-11ヶ月			1		8	2	4	1	33		10			1				1			1-4
1			4	2	13	4	6		22		25		3	1							5-9
2				1	13	8	5				30		3								10-14
3			1	2	15	9	4	1			18		2	3							15-19
4				5	23	1	1	2			7		4								20-24
5			1	2	10	2	1	1			5		6	2							25-29
6				2	9			3			3		4								30-34
7			1	1	11	1		1			2		1							1	35-39
8				1	10	1		3			2		1								40-44
9				2		1		2			1										45-49
10-14				1	14	1					2										50-54
15-19					1																55-59
20-29 ⁵⁾					5		1	1						4							60-64
30-39														7							65-69
40-49														3							70-
50-59														1							
60-69														1							
70-79 ⁶⁾																					
80-																					

定点当たり報告数

四国中央		.3	.3	2.3		.3	1.7			1.3		-	-								四国中央
西条		.2	.2	4.3	1.8	.2	.5	1.3		2.3		.2		2.0			1.0				西条
今治			.6	2.8	.6			2.8		1.0											今治
松山市		.4	.2	5.4	1.1	1.0	.4	1.8		3.6		.7	6.3	-	-	-	-	-	-	-	松山市
松山			2.3	4.0	.8	1.0		2.0		1.5		.3	2.0							1.0	松山
八幡浜		.3	.5	2.8	1.0	.5		.8		6.8		2.5									八幡浜
宇和島		.3	.3	1.0		.8	.8	1.3		2.5		1.0									宇和島
愛媛県		.2	.5	3.7	.9	.6	.4	1.6		2.9		.6	2.9				.2		.2		愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月22日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2007年 第 32 週 (2007.8.6 ~ 8.12)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん		
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
四国中央			2	3	10	1			2			5		-	-							四国中央
西条			3	10	26	6		7	8			12		1								西条
今治				8	9	1	2	3	12			12		1	1	6			3			今治
松山市			1	3	54	16	13	4	22			38		12	19	-	-	-	-	-		松山市
松山			1	12	11	2	2	1	8			10		1	1							松山
八幡浜				2	9		2	1	7			30		4	3				1			八幡浜
宇和島					1	1	1	4	1			14		5								宇和島
愛媛県			7	38	120	27	20	20	60			121		24	29			4				愛媛県
1週前			10	35	121	22	22	17	43			151		33	16			1				1週前
2週前			10	40	154	40	16	26	50			241		27	27			1				2週前
3週前	1	1	12	49	153	46	16	39	43	1		278		36	17			2				3週前
0-5ヶ月					1				2													0
6-11ヶ月					12	6	2		39			7							2			1-4
1			3	2	15	11	11	1	19			37		4	2			1				5-9
2				3	14	2	4					28		2	2			1				10-14
3			1	3	15	4	2	1				19		2								15-19
4			1	4	9	2	1	5				11		2	3							20-24
5				11	12	1		2				5		4	1							25-29
6			1	3	12	1		3				7		4								30-34
7				3	10			4				1		2	1							35-39
8			1	1	4			3				3		1	1							40-44
9				1	4									2								45-49
10-14				7	10			1				3		1								50-54
15-19															2							55-59
20-29 ⁵⁾					2									1								60-64
30-39																2						65-69
40-49																						70-
50-59																						
60-69																						
70-79 ⁶⁾																						
80-																						

定点当たり報告数

四国中央			.7	1.0	3.3	.3			.7			1.7		-	-							四国中央
西条			.5	1.7	4.3	1.0		1.2	1.3			2.0		.2								西条
今治				1.6	1.8	.2	.4	.6	2.4			2.4		.2	1.0	6.0			3.0			今治
松山市			.1	.3	4.9	1.5	1.2	.4	2.0			3.5		1.1	.3	6.3			-	-	-	松山市
松山			.3	3.0	2.8	.5	.5	.3	2.0			2.5		.3	1.0							松山
八幡浜				.5	2.3		.5	.3	1.8			7.5		1.0	3.0				1.0			八幡浜
宇和島					.3	.3	.3	1.0	.3			3.5		1.3								宇和島
愛媛県			.2	1.0	3.2	.7	.5	.5	1.6			3.3		.6	.3	3.6			.7			愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月15日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第31、32週 (2007.7.30 ~ 8.12)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点						
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん ²⁾	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 ³⁾	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 ⁴⁾	成人麻しん
31週	愛媛県		.3	.9	3.3	.6	.6	.5	1.2			4.1	.9		2.0			.2			
	近畿県	香川県	.0	.3	1.4	2.9	.4	.1	.6	.6			2.8	.3							
		徳島県		.2	.2	2.8	.6	.9	.2	.4			4.3	.0							
		高知県		1.1	.4	1.9	.8	1.0	.8	.9			4.3	.8		.7					
	全 国	.1	.4	1.0	3.0	.8	1.7	.5	.7	.0	.0	3.7	.4	.0	.8	.0	.0	.3	.0	.0	
	週	北海道	.1	.6	1.5	1.7	1.3	.2	1.0	.6	.0		1.0	.0	.1	.8			.0	.2	
		東北	.0	.4	.9	2.1	1.1	2.8	.8	.8	.0		2.4	.0	.6	.7	.0	.0	.5	.0	.1
		関東	.0	.4	1.1	3.0	.9	2.1	.5	.7	.0	.0	4.6	.0	.3	1.1	.0	.1	.3	.0	.1
		甲信越北陸	.0	.7	1.0	2.8	.9	1.7	1.4	.6	.0		4.8	.4	.5	.0	.0	.2	.1	.0	
		東海	.0	.3	1.1	3.0	.8	1.0	.4	.7	.0	.0	3.9	.0	.4	.3	.1	.1	.4	.0	
近畿		.0	.4	.8	3.1	.6	1.5	.4	.7	.0	.0	4.1	.0	.5	.3	.0	.0	.2	.0		
中国四国		.0	.5	.9	3.5	.7	.7	.4	.8	.0		2.9	.0	.4	1.1			.3	.0		
九州沖縄	.8	.4	.8	3.9	.8	2.2	.2	1.0	.0		3.1	.1	.5	1.1	.0	.0	.3	.1			

(2007.8.8集計)

32週	愛媛県		.2	1.0	3.2	.7	.5	.5	1.6			3.3	.6	.3	3.6			.7			
	近畿県	香川県	.3	.1	.6	2.5	.6	.1	.3	.4			2.4	.0	.1	1.0					
		徳島県	.2	.2	.4	3.6	.3	.8	.4	.7			3.7	.1	.3						
		高知県	.0	1.4	.9	2.3	.9	.9	1.2	.8			3.6	1.2	1.0			.1			
	全 国	.1	.4	.8	2.8	.6	1.3	.4	.7	.0	.0	2.9	.0	.3	.0	.6	.0	.1	.3	.0	
	週	北海道	.0	.3	1.1	1.3	.9	.3	.6	.6	.0		1.0	.0	.1	.5			.1	.0	
		東北	.0	.4	.7	1.9	.7	2.6	.7	.7	.0		2.4	.0	.5	.4	.0	.0	.4	.0	.0
		関東	.0	.4	1.0	2.8	.6	1.7	.4	.7	.0	.0	3.6	.0	.3	.8	.0	.1	.1	.0	.1
		甲信越北陸	.0	.6	.8	2.4	.8	1.2	.7	.6			4.1	.0	.4	.3	.0	.0	.3	.0	.0
		東海	.0	.2	.8	2.7	.6	.8	.4	.8	.0		3.0	.0	.3	.2	.1	.3	.0	.0	
近畿		.0	.4	.6	3.0	.5	1.0	.3	.6	.0	.0	3.0	.0	.4	.5	.0	.0	.2	.1		
中国四国		.0	.5	.8	3.5	.6	.5	.4	.8	.0		2.4	.0	.4	1.2			.5	.0		
九州沖縄	.5	.5	.9	3.4	.5	1.3	.1	1.0	.0	.0	2.4	.0	.4	1.0	.0	.1	.2	.0			

(2007.8.16集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。

全国 全数把握感染症 第31、32週 (2007.7.30 ~ 8.12)

疾病名	二類 (2) 結核	三類感染症					四類感染症														五類感染症																
		(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症
全 国	454	11	322	1		4	4	1	1			1	2	2						1	35		31	7	4	3	2	30	1	1		19	5		2		
第31・32週報告数	四 国	愛 媛 県	7		4					1																											
		香 川 県																				1															
		徳 島 県	2		4																	1															
		高 知 県	8		1																										1			1			
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	12		2			3		1												1		2													
		東 北 道	40		24																	3															
		関 東 圏	129		60	1		1	1													1	11	19	1	3	1	1	18				10	3		1	
		甲信越北陸	34		24																		3														
		東 海 道	65		22										1								4	5	1				3	1			6			1	
		近 畿 圏	64		3	78									2								2	5	3	1			6				1				
中国 四 国	35		1	22										1								5		1				1				1					
九 州 沖 縄	75		1	90																	6							1				2	1				
週 推 移	全 国	32週	229		11	157			3	2	1			2	2							10	17	1	3			22		1		10			2		
		31週	225			165	1		1	2		1		1								1	25	14	6	1	3	2	8	1		9	5				
		30週	230	1	6	176		1		3		1			4	1					1	15	3	1	1	1	1	4			6	1					
		29週	204		11	118									1	2	2					1	18	6	3	1	2		14			9	1			2	
2007年累積数	全 国	全 国	7281	9	309	2123	21	9	38	103	12	22	3	3	93	43	27	1	1		2	28	3	368	6	491	139	148	4	96	63	885	31	12	398	59	43
		愛 媛 県	128		3	16				1		1					2							3		2	1	1	5		4			5			
		香 川 県	41		1	2				1														1		1	1	1		1	3			3			
		徳 島 県	71			11																		1		2			1	1							
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	236		2	29	1		9	6	9	1										1	1	16	14	5	3	2	5	11			7	2		1	
		東 北 道	438	2	9	117	3	1	2	10		3			38	1						2		26	26	8	10	4	5	30		2	18	6		3	
		関 東 圏	1872	4	146	697	7	5	7	31	3	7			3	8	18	1				18	2	109	2	215	41	48	1	26	21	443	19	3	153	19	24
		甲信越北陸	462		11	215	1	1	1	5					9	1								38	1	16	8	9	1	8	4	20	2		16	4	3
		東 海 道	1134		47	108	3		14	10		3			4	4	4						1	58	57	8	4	10	5	130	2	1	68	3		7	
		近 畿 圏	1260	3	61	365	6	2	3	20		5			10	11	5		1			7	54	111	35	33	20	7	166	6	2	34	6		4		
中国 四 国	768		25	174			1	9		2	3		6	2	8	1					1	33	20	24	13	1	16	9	28	2	1	25	1				
九 州 沖 縄	1111		8	418			1	12		1			18	6	9							34	3	32	10	28	1	10	7	57		3	77	18	1		

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

(2007.8.16集計)